

出羽三山の両生類・は虫類

出羽三山の小川と池は、様々な両生類に対して、静水と動水の生息環境を提供しています。

弥陀ヶ原湿原には池が点在しており、その水源は、月山のとても冷たい雪解け水です。これらの池には、クロサンショウウオ (学名: *Hynobius nigrescens*) が生息しています。トウホクサンショウウオ (学名: *Hynobius lichenatus*) は、より稀少な種であり、小川のゆるやかな流れを好みます。

ニホンアカガエル (学名: *Rana japonica*) も稀少種です。このカエルは、月山のふもとの田んぼに生息しています。このカエルは、1〜3月という早い時期に冬眠から覚め、冬眠に戻る前に卵を産みます。この地域のカエルには、他にヤマアカガエル (学名: *Rana ornativentris*) やカジカガエル (学名: *Buergeria buergeri*) などがいます。カジカガエルはきれいな小川に住み、鳥の鳴き声によく似た美しい声で知られています。

モリアオガエル (学名: *Rhacophorus arboreus*) は、この地域の沼地や池でよく見られます。この緑色のカエルは、静水の近くに、泡で包まれた卵を産みます。この卵は、アカハライモリ (学名: *Cynops pyrrhogaster*) を惹きつけます。アカハライモリは、卵から出てくるおたまじゃくしを食べようと、卵がかえる前から大量に集まってくるのです。

この地域には多くのは虫類が生息していて、とりわけヘビが多くいます。その中には、シロマダラ (学名: *Lycodon orientalis*) やヒバカリ (学名: *Hebius vibakari*) といった稀少種が含まれます。また、より一般的な種もいます。たとえば、ニホンマムシ、ヤマガカシ (学名: *Rhabdophis tigrinus*)、アオダイショウ (学名: *Elaphe climacophora*)、シマヘビ (学名: *Elaphe quadrivirgata*) などです。この地域には、ニホンカナヘビ (学名: *Takydromus tachydromoides*) というは虫類もあり、森に駆け込んでいくのを時おり見ることができます。